

2019年 4月 3日

入院中に抗てんかん薬を服用されつつ血漿交換療法を受けられた患者さんへ

## 「 血漿交換療法が抗てんかん薬の血中濃度に及ぼす影響 についての研究 」への協力をお願い

脳神経内科では、過去に下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**2013年1月～2018年12月において、入院中に抗てんかん薬を服用されつつ単純血漿交換療法を受けられた方

**研究期間：**倫理審査委員会承認日～ 2024年3月31日

### 研究目的・方法：

診療録より、対象期間中に血漿交換療法を施行された患者のうち、抗てんかん薬を使用していた患者さんの検査値を確認し、単純血漿交換前後の抗てんかん薬の血中濃度比較し血漿交換の影響を調査します。

### 研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

患者さんの年齢、身長、体重、年齢、血清クレアチニン値、AST、ALT、T-Bil、Alb、併用している薬剤および血漿交換前後の抗てんかん薬の血中濃度

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究に関する質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

### 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

### 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号 058-230-7088

氏名：西田 承平

**研究責任者**

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫